

ひらた医院 NEWS

2018年6月1日
第 228

毎週火曜日
午後1時に生花
を診察室前
に活けてい
ます。皆様
の目の保養
になります
ように。

インターネットでも予約できます。
<https://e.inet489.jp/hrt7616>



【日曜診療のお知らせ】

6月の日曜診療はございません

ひらた医院では、皆様からのご要望で、
毎月1回日曜日、内視鏡検査を
ご予約の方を中心に診療しておりますが、
6月は日曜診療はございません。

詳細は受付までお問い合わせください。

☆今後のヘリカルCTの予定☆

H30年6/27(水)
7/31(火)
8/29(水)
9/27(木)
10/27(土)
11/24(土)
12/18(火)

いずれも10時からです
(前日まで要予約)

ひらた医院は
医療を通じて
社会に貢献い
たします。



日	月	火	水	木	金	土
～平成30年6月～						
5/27 診察	28	29	30	31 午前	6/1	2
3 休診	4	5	6	7	8	9
10 休診	11	12	13	14 午前	15	16
17 休診	18	19	20	21 午前	22	23
24 休診	25	26	27 CT	28 午前	29	30
7/1 休診	2	3	4	5 午前	6	7

ひらた医院

胃腸科・肛門科・内科・外科
〒870-1143 大分市田尻478

代表 ☎ 097-548-7616
FAX 097-548-7626

☆ 診察順番予約専用 ☆

☎050-5533-1937

※4/26～変更になりましたので
ご注意ください

☆ 内視鏡センター直通 ☆

☎097-576-7618

内視鏡の予約はこちらまで

● 診察時間 ●

午前9時～12時30分
午後14時～18時

● 休診 ●

日・祝・木曜午後

院長 平田 孝浩

医学博士

外科専門医／消化器外科認定医
平成14年7月1日 開院

- 次回のヘリカルCTは6月27日(水)10時～です。
- 胃・大腸の内視鏡検査は毎日行っております。
- 検査のご予約やご相談、承っております。
- 会社の健康診断、入社や入学に必要な健康診断も承っております。

☆健康の輪を拡げる運動を
しています☆

皆様の周りの大切な方に
健康の大切さ、健康管理の重要性を
お話してください。

急性腸炎とは原因発生より1日から数日以内に急激に起こる腸の炎症のことです。症状としては下痢や腹痛・悪寒・おう吐・発熱・腹部膨満感などがあります。重症になると脱水症状が起こります。

何かあったら
どうしようvol.83

急性腸炎について

「何かあったらどうしよう」はひらた医院が発行する、ご自身のカラダのことを考えるきっかけとしていただくための新聞です。お楽しみに。

原因は？

ウイルス感染や細菌感染が多いですが、食事に対するアレルギーや腸の血行障害でも発症する場合があるので注意が必要です。

注意することは？

【普段】

- ★手に傷があり化膿している場合は素手で調理をしないようにする
- ★鶏肉や夏場の魚介類は十分火を通すようにする
- ★うがい手洗いをする

【感染してしまった場合】

- ★感染者と接触する際にはマスクをする
- ★下痢やおう吐が激しいときは水分補給をする
- ★汚物を管理する際は密閉できる袋や使い捨ての手袋を使用する



検査は？

血液検査や細菌・ウイルス学的検査、寄生虫検査、原因によってはX線や内視鏡検査を行います。

臓器の病気に限らず、当医院では目や耳など全身の症状につきましても総合的に診察することが可能です。小さな症状でも気になる方はお気軽にご相談ください。



「治るガンで死なせない」
を使命とし、日々奮闘中！

ひらた医院 院長 平田孝浩

ひらた医院では
「健康の輪」を
広げる取り組みを
行っています。
大切な方へ「健康の輪」を
広げていきましょう。



院 長 パ パ ラ ッ チ



「糖尿病」について

2018年6月1日号
パパラッチ発行



「糖尿病」とはインスリンが不足または働きが悪くなり、有効に使われないブドウ糖が血液中に必要以上たまり、血糖値が高くなっている状態のことをいいます。インスリンは臓器細胞にブドウ糖を取り込ませる働きをするものです。糖尿病は遺伝的な体質に過食や食事の偏り（脂肪の多い食事）・肥満・運動不足やストレスなどの生活習慣の乱れが加わり発症するといわれています。糖尿病は初期の場合、ほとんど自覚症状がありませんが、ある程度病気が進行すると水分を多く取る・体重が減った・多尿・疲れやすい・空腹感が強くてたくさん食べてしまう・手足のしびれや足がつりやすいといった症状が現れてきます。合併症として、脳卒中や脳梗塞、糖尿病網膜症や糖尿病神経障害があります。これらの合併症は生活に支障をきたす重大な状態になることも少なくありません。

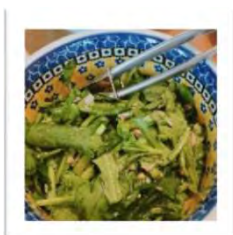
飲みすぎや食べすぎを控え、適切な量で栄養バランスの良い食事をとることが予防や治療に繋がります。良い食生活を維持することで血糖値が高くなりにくい体質に改善されていきます。血糖値の上昇を防ぐために食物繊維が豊富な野菜を食べてから他の食事を取ることや1日のエネルギー摂取量を気を付けた食事を心掛けること、決まった時間帯に1日3食、間食を控えて空腹の時間帯を作ることも重要となります。またインスリンの働きをよくするために歩行や体操、筋肉トレーニングなどの運動を積極的に行いよく体を動かすことが大切です。体を動かす時間を少しずつ増やし、無理をせず安全に体を動かしましょう。

糖尿病は尿検査や血液検査でわかりますので、ご相談ください。糖尿病以外の全身の症状につきましても総合的に診察することが可能です。小さな症状でも気になる方は、お気軽にご相談ください。

おうち
大好き🏠



おいしい
食事🍴



🌸 今月のお花 🌸



ひらたの文字が
かくれんぼ



ひらた医院のホームページに
アクセスできるQRコードです。
アクセスしてください！！

最近、暑い日が続いています！こまめな水分
補給と休息を心掛けていきたいですね♪

パパラッチ編集部